

月 mon. 19:30 - 21:30

「大野一雄」から考える

大野一雄フェスティバル 2010 関連講座

11/15、19(金)、22、29、12/6、13、20、27



舞踏家大野一雄氏が103歳で逝去しました。氏は1930年代からモダンダンサーとして活躍、60年代には土方巽と「舞踏」を創出し、また100歳を越えて舞台上立つなど舞踊史

に独自の軌跡を残しました。100年を生き抜いた氏の芸術と人生を、21世紀を生きる私達はどのような広がりで見ることが出来るのでしょうか。「大野一雄」を起点として、「大野一雄と…」というテーマで各界の専門家に語ってもらいます。

- 11/15 四方田犬彦(批評家)「大野一雄とパブリック」
 - 11/19 フェスティバルオープニング公演+パーティー
 - 11/22 渡辺 保(演劇評論家)「大野一雄と日本の舞踏」
 - 11/27 高橋和子(横浜国立大学教授)「大野一雄と創作ダンス」
 - 12/6 ジャン・カルマン(照明家)「大野一雄とヨーロッパの出会い」
 - 12/13 岡本 章(演出家・明治学院大学教授)「大野一雄と能」
 - 12/20 武藤大祐(舞踊評論家)「大野一雄と舞踏」
 - 12/27 森下隆(慶應義塾大学アート・センター)「大野一雄と土方巽」
- ※11月19日は金曜日になります
※特別講座のため定員25名とします

火 tue. 19:30 - 21:30

グリーンメディア編集長リレートーク 2010

YES(横浜市民地球温暖化対策事業本部 ヨコハマ・エコ・スクール)

11/16、23、30、12/7、14、21、1/11、18



Think Globally, Act Locally. 環境の問題は、グローバルとローカル情報が結びつく新しいメディアの地平を開いています。それら

の発信を担ってきた「グリーンメディア」は大きな広がりを見せながら、環境と社会と個人の新しい関係を創りだそうとしています。この講座では、最前線のグリーンメディア各社の編集長を招き、緑の世界の交流の場を展開していきます。

講師: 森 撰「オルタナ alterna」、伊藤吉幸「GREENSTYLE」、上田 社一「Think the Earth」、鈴木菜央「Greenz.jp」、水野雅弘「Green TV Japan」、有福英幸「ジヤスニュース」、上田啓介「ソトコト」、谷崎テラ「World Shift Radio」
企画: 275研究所

YES(イエス): ヨコハマ・エコ・スクールは、横浜市脱温暖化防止行動方針「CO-DO30」の目標達成のため「横浜で地球を学ぼう」をキャッチフレーズに立ち上げられた、市民参加型プロジェクトです。市民、市民活動団体、事業者、大学、行政が実施する環境・地球温暖化問題に関する様々な学びの場を「YES」という統一ブランドで、全市のムーブメントとして推進していきます。



水 wed. 19:30 - 21:30

アラカンから始める現代アート

-現代美術なんかこわくない!

11/17、24、12/1、8、15、22、1/5、12



60歳以上を対象とした現代美術講座。世間では高齢化社会の暗い話題だけが先行していますが、60歳代といえば、むしろ様々なことをやり終えて、これからどうしようかと、

本当はうきうきの時期であるはず。そこでために、BankARTスクールで現代美術にトライしてみませんか? 一線で活躍している講師陣が、アートの見方やコレクションの方法、ボランティアとしての関わり方など、様々な側面から、おじいちゃんおばあちゃんの現代アートとの付き合い方を伝授します。「60にして耳順(耳にしたがう)、70にして心の欲するところに従って短(のり)をこえず」現代美術鑑賞論 / ボランティア論 / コレクター論 / ギャラリー論 / 作家論

講師: 村田 真(美術ジャーナリスト)、辛 美沙(Misa Shin & Co.)、小山登美夫(小山登美夫ギャラリー)、横浜美術館学芸員、アートフロントギャラリー、他
※横浜市民割適用講座。(受講料半額)
※60歳未満の方はご相談ください。

木 thu. 19:30 - 21:30

新しいアートと法の話しよう

Arts and Law

11/18、25、12/9、16、23、1/6、13、20



情報社会の進化にともない、著作権をはじめ、情報や表現をコントロールする法や制度の影響が社会に浸透しました。一方でアートはこの現象について社会に示唆を与え、

再考を促す役目を担ってきました。本講座では、ゲストとともに①近現代の芸術を法的な面から捉え直し、②現在の表現活動やその支援に役立つ正確な法的知識を身につけ、③新たな創作を支援する仕組みについて考えていきます。2004年の「実践アートNPOの著作権・契約」に引き続き、BankART Schoolの法律関連講座は2回目となります。

アーツアンドロー: 芸術を支援する法律家NPO。2004年結成。アートなどのあらゆる文化活動に携わる人々を対象に、ボランティア専門家が法律やお金に関する相談への実践的で中立的なアドバイスを提供。アートと公共性の関係についての対話のコーディネートも行う。著書『クリエイターのためのアートマネジメント』(八坂書房)、共著に『プレゼンのトリセツ』(ワークスコーポレーション)など。
現在のメンバーは、作田知樹、鄭 一志、永井幸輔、水野 祐、渡辺大介、岩倉悠子、山内真理、他。

金 fri. 19:30 - 21:30

続・朝鮮通信使研究会

11/26、12/10、1/7、21、2/4、18 隔週6回



日本と朝鮮半島の新しい交流プロジェクト「続・朝鮮通信使」を継続する研究会を発足します。今年4~5月にかけてのBankARTスクールでの仲尾宏氏による「朝鮮通信使」のゼミは、多くの種子を私たちに与えてくれ、8月のソウルから妻有までの瀬戸内を中心にした25日間に及ぶ、日韓の共同の旅を乗り多量のものにしてくれました。また同時に、たくさんの新たな課題も浮かび上がってきました。こうした状況を踏まえ、この研究会では、様々なゲストを招きながら、今後の長期にわたるプロジェクト案の構築(来年度はソウル~釜山間)を試みながら、研究/調査/議論を続けていきたいと思っております。実践も含めて皆様のご参加をお待ちしております。

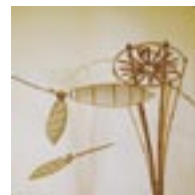
※研究会のため受講料無料

土 sat. 14:00 - 16:30

サウンドオブジェを創ろう

松本秋則

11/27、12/11、25、1/8、22、2/5 隔週6回×2.5h



松本氏は1982年頃から竹等を使ったサウンドオブジェ(音の出る作品)の創作を続けています。サウンドオブジェの面白さは、普段見慣れている素材を用いながら、驚くような音がでる仕組みを発見すること、既成の楽器の演奏が出来ないでも気軽に音楽が楽しめること

です。この講座では、道具をあまり使ったことのない人も参加できるように、松本氏が、一から丁寧に作り方を教えてくれ、またそれを使った音の遊びも同時に学んでいきます。親子での参加が基本になりますが。(小学生の受講料は無料です) まつもとあきのり: 不思議美術家。1951年生まれ。1978年より創作活動を始め、現代日本美術展、日本国際美術展、ヘンリー・ムーア大賞展など数多くに出品する。1992年五島記念文化財団の助成で、1年半アジア7ヶ国で少数民族の芸術を研究。1999年、第9回バンガラデシュ・アジア・アートビエンナーレでグランプリを受賞。現在は美術館、ギャラリー、公園、民家などさまざまな場所でサウンド・インスタレーションを展開中。松本氏もメンバーの一人である文殊の知恵熱のDVD「奇跡の軌跡」はBankART出版より発売中。

BankARTschool 2010年11月-2011年1月 募集案内

BankARTスクールの概要

基本的に週1回、2ヶ月間で全8回。定員は20名程度。講座時間は19:30~21:30(土曜日は14:00~16:30)です。場所は、基本的にBankART Studio NYKになります。

スクール受講生の特典

受講生には学生証を発行します。また、BankARTショップでの買い物か5%割引、BankARTバブおよびカフェの1,000円チケットが10%割引となります。

アシスタントの募集

BankARTスクールでは、講座の記録やサポートをお願いするアシスタントを募集しています。アシスタントの方は、記録担当の講座を無料で受講することができます。意欲のある方のご参加をお待ちしております。

お申し込み方法

①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・FAX・電話のいずれかにてお知らせください。その際に受講料の振込先をお知らせいたします。1講座15,000円(税込み)。はじめての方は入学金3,000円(税込み)も一緒にお支払いいただきます。入金が確認でき次第、手続き完了となります。また、講座によっては別途材料費や資料代がかかる場合があります。なお定員になり次第、申し込み受付を終了させていただきます。また、一旦納入された受講料は返金できませんのでご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ: BankARTスクール事務局

school@bankart1929.com TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813 BankART Studio NYK 〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9